

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
 URL <http://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

新たに「放課後キッズクラブ」6校の運営をスタート!!

～ 子ども・子育て支援の充実に貢献 ～

子どもたちの笑顔があふれるキッズクラブの運営を目指します!



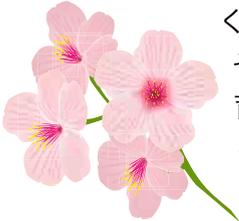
「子ども・子育て支援新制度」スタートに伴い、「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」への転換推進という横浜市の施策を受けて、平成27年3月開設の南小(南区)、永田小(南区)、上矢部小(戸塚区)、飯島小(栄区)、瀬谷さくら小(瀬谷区)、4月開設の十日市場小(緑区)の各放課後キッズクラブの運営法人に応募し選定されました。当法人の運営するキッズクラブは合わせて24箇所になりました。

放課後3事業従事スタッフの人材育成、研修の充実に取り組みます!

平成27年度は法人主催研修実施に加え、横浜市主催研修を受託します。キッズクラブの運営とスタッフ人材育成の両面から、安全な放課後の居場所づくりの推進



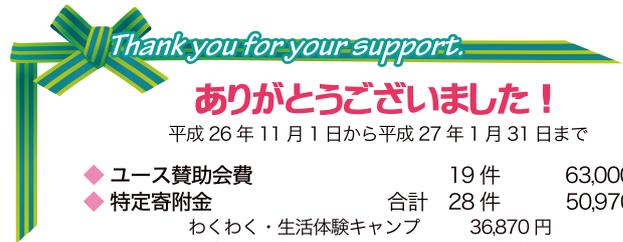
そして子育てを応援していきます。



平成27年「新春のつどい」(1月28日)

今年も日ごろから法人を支えていただいている多くの皆さまにご参加いただき、和やかな雰囲気でお睦を深めることができました。

感謝状贈呈式、事業報告のほか、アトラクションとして『倉谷仙太郎と横浜やっしや鯛』さんによる獅子舞や曲独楽と『風雲かぼちゃの馬車』さんによるオリジナルミュージカルの披露があり、素晴らしい技と迫力ある演技に大いに盛り上がりました。



ありがとうございました!

平成26年11月1日から平成27年1月31日まで

◆ ユース賛助会費	19件	63,000円
◆ 特定寄附金	合計 28件	50,970円
	わくわく・生活体験キャンプ	36,870円
	野島クリスマスキャンプ	7,000円
	ハートフルスペース	7,100円
◆ 一般寄附金	16件	16,000円

寄附金協力者(日付順、敬称略)

【団体名】 稲垣薬品興業株式会社/今宿中学校PTA/横浜木曜会
 【個人名】 有路 由紀子/稲又 理史/岩崎 淳/田中 一徳/源生 詠子/
 源生 忠純/石田 猛/岩田 聡/白石 孝徳/後藤 真理子/横田 カツ子/
 井上 孝夫/横山 純子/古宮 修/阿久津 強/藤居 孝典/賀谷 まゆみ/
 片岡 喜久江/松井 孝子/吉富 多美/福井 昭二/佐藤 克徳

横浜市青少年交流センター

ありがとう!おかげさまで第10回「青少年の居場所づくり」全国フォーラム2015

(2月14・15日)

今年で10回目という節目の年を迎えた「青少年の居場所づくり」全国フォーラム。今年度は「青少年の居場所、次の一歩」をテーマに、居場所づくりの10年を振り返るとともに、これからの「青少年の居場所」について、講師・パネリスト・参加者らによる白熱した議論が繰り広げられました。2日間で延べ150人の方にご参加いただき、全国各地での取り組みについて、互いに学び合う場になりました。

初めて実行委員として運営に参加した大学院生の松尾有美さん。「今回が初めての参加で、こうした事業の企画運営に関わることも初めての経験でした。2日間が過ぎるのがあっという間で、とても楽しい時間でした」という感想を寄せてくれました。

参加者の皆さま、ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



横浜市青少年交流センター

第1回「横浜 子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」

(1月12日)

主催は『“横浜・子ども青少年に関わる活動関係者の大交流会”を開く会』で、関係団体の方々が自主的に集りました。当日は、青少年の地域活動拠点、ユースプラザ、地区センター、プレイパーク、学童保育、障害児入所施設、居場所づくり活動、不登校引き込み支援、学習支援、就労支援、国際交流、研究者など、様々な分野で子ども・青少年に関わっている方達89人に参加いただきました。

第1部の「参加による活動紹介タイム」では、22団体がそれぞれの活動について発表しました。第2部の「交流タイム」では、参加者の皆さんが積極的に情報共有を行っていました。

参加された方からは、「会いたいと思っていた団体とつながりができて良かった」「普段会えない人達の活動を知ることができ、有意義な時間でした」「沢山の話を聞くことができたので、今後の活動に活かしていきたい」という感想をいただきました。また、「市内には仲間がたくさんいるんだ！と感じ、心強かったです」「皆さん熱心で、パワーをもらいました」という意見もいただきました。この大交流会は、あらたに人と人とのつながりが築かれたことだけでなく、活動に向けて元気がわいてくる機会にもなったようです。



横浜市青少年育成センター

シンポジウム「世の声に気づく 向き合う—子どものサインをどう受け止めるか—」

(1月31日)

子ども・若者の課題を受け止め、支えているコーディネーターとパネリスト3人のそれぞれの立場からの実践報告と、その後のパネルディスカッションを通して、参加者69人が言葉で気持ちを伝えることができずにいる子どもの心を受け止め、地域の大人の一員としてどんなことができるかについて考えました。

◆参加者の声「表面的に起きていることの裏側を考えるエピソードの数々が参考になった」「多様なパネリストの話が聞いて面白かった」「地域の子どもの姿・言動に目を向けたい」



よこはまユース（本部事業）

みなと☆プラネタリウム

(1月25日)

昨年度から横浜市立みなと総合高校の地球科学部の皆さんと、移動式プラネタリウムの投影と、部員考案の画用紙で作るミニプラネタリウム工作のイベントを実施しています。

参加した小学生は「横浜の空でもみえる星がたくさんあった!」という発見や、「やさしくていねいに高校生が教えてくれたのでよかった」といったお兄さんお姉さんとの出会いが心に残っているようでした。



横浜市野島青少年研修センター

のじまチキチキキャンプ

(2月21～22日)

キャンプでは、世界の鳥料理「ワールドキッチン」や野鳥観察など、鳥に関する多様なプログラムを楽しみました。この辺りでは珍しいオシドリを観察することもできました。このキャンプをきっかけに、子どもたちには身近な自然や環境について興味関心を持ってもらえたらと思います。今後も多くの自然体験プログラムを提供していきますので、ぜひご参加ください。



連泊でも安心!!

横浜市野島青少年研修センターでは、コインランドリーを3台設置しました。これで部活動の合宿や連泊でも安心!

高校や大学などの部活合宿やサークル研修等の連泊利用をお待ちしております。

